



伊達市長、豊浦町長、壮瞥町長、洞爺湖町長が生出演しました



市観光物産館ではインタビューも

FM77.6MHz [wi-radio] (ワイラジオ) 開局しました

4月30日、地域コミュニティFMラジオ「wi-radio」の開局イベントが伊達市観光物産館で行われました。

「wi-radio」は、伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町を放送エリアとし、普段は地域の情報を、災害などのときは災害状況や避難情報など、どちらも地域ならではの情報をお届けしたいと1市3町が協力して設置しました。

開局記念特別番組「あなたのそばに」では、ボランティアスタッフが1市3町の道の駅で中継する場面も。

「地域の身近な放送をぜひ聴いてほしい」と新しいラジオ局のPRに力を入れていました。

認知症を予防するために

5月8日、旭町集会所で認知症予防教室が開催され、市街第1-15区自治会から21名が参加しました。

市の保健師から「認知症は年齢を重ねると誰でも発症する可能性があるが、適度な運動やバランスの良い食事、積極的に人と接するなど、活動的な生活を送ることが予防になります」との説明を受けた後、認知症予防に効果がある「ふまねっと運動」を体験。

笑顔を交えながら、楽しそうに取り組む参加者の姿が見られました。



ふまねっと運動を体験する参加者

頂上を目指し、それぞれのペースで歩みを進めました



有珠山山開き・安全祈願祭

4月29日、北有珠町にある有珠山登山道の入口で「有珠山山開き」と「安全祈願祭」が行われました。

これは、登山の安全を願い毎年行われているもので、関係者や登山愛好家約100名が参加。だて観光協会の大坪会長が「有珠山は誰でも気軽に登れる山。眺望も素晴らしいので、健康のためにぜひ登ってください」と挨拶しました。その後、準備を整えた登山者は、春の清々しい空気の中、有珠山の自然を眺めながら登山を楽しんでいました。

アイヌ文化を学ぶ

5月15日、史跡北黄金貝塚公園で「アイヌ文化まなび講座」が開催されました。

これは、アイヌの文化や歴史を知ってもらうため市が主催しているもので、今回は「イナウ」作りを体験。イナウは、祭事や神に祈りを捧げるときに使う祭具で、ヤナギやミズキの木を削り作ります。

講師の諏訪野義雄さんからイナウの種類や作り方の説明を受けた参加者は、木を削るための専用の道具を使い、集中して作業を進めていました。



コツをつかむまで何度も削ります

旗を持ち安全運転を呼びかける参加者



安全運転を心がけましょう

5月11日、春の全国交通安全運動の開始に合わせて、市内の国道37号沿いでセーフティコール「旗の波運動」が行われ、約200名が参加しました。

菊谷市長が「安心・安全なまちづくりのために皆さんの協力をお願いします」と挨拶。その後、参加者は沿道に並び、安全運転を呼びかけました。

また、市観光物産館前では、地域安全運動の街頭啓発が行われ、「オレオレ詐欺や特殊詐欺に気を付けてください」との呼びかけも行われました。



伊達市連合自治会協議会定期総会・自治会長会議

5月12日、カルチャーセンターで、「伊達市連合自治会協議会定期総会」が開催されました。

今年度の定期総会にも約60名の自治会長が出席。同協議会の渡邊源之会長が「より良いまちづくりのためには、コミュニティ活動の推進が重要。皆さんと協力しながら取り組みたい」と挨拶しました。

その後、昨年度の事業報告や今年度の事業計画案などを審議し、承認されました。

また、総会後に開催された自治会長会議では、今年度の新規採用職員10名が自己紹介を行い、今後の抱負を述べました。



新規採用職員の自己紹介



定期総会の様子